

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の運帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

いわき経済同友会

3つの目的

- 1つ よい会社をつくらう
- 2つ よい経営者になるう
- 3つ よい経営環境をつくらう

5月号/2011年5月1日発行

昭和23年度 定時総会・基調講演会開催

平成23年5月26日(木) 会場/いわきワシントンホテル椿山荘

いわき経済同友会 5月特別講演会



寺主君男代表幹事挨拶

今回の震災により多くの方が亡くなられ、そして被災された方にお悔みとお見舞いを申し上げます。また、この震災復興のため自衛隊・警察官・地元消防団の皆様には、過酷な条件のもと災害復興にあたって頂いておりますことに、心より感謝を申し上げます。

いわき経済同友会は、22年度より重点活動として、人口減少・少子高齢化社会に伴う産業構造変化に対応すべく、産学官連携による産業再編の政策提言を進めて参りました。しかし、東日本大震災と原発事故により、いわき市の第一次産業から第三次産業まで、全ての産業が大きな痛手を被り、また社会環境も著しく破壊されている現状にあります。会員の方も被災されている会員もおられます。このような時こそ、本日の総会にて、会員同士の絆のもとあらゆる情報を共有し、この未曾有の大震災に立ち向かっ

て行きたいと思えます。さて、平成23年度の活動につきましては、4・5・6・7月の四ヶ月間、グループ会・委員会活動を全て休止させて頂くことに致しました。また、会費についても4月から6月の三ヶ月間（一期分）徴収をしないことにしました。

なお、各会員の事業所の復旧・復興のためのテーマ「労務対応・社会保険等・資金調達等々について」設定をして、月2回の勉強会を行なうことにしましたので、ご理解を頂きたいと思えます。

そして本日、急きょ原発事故による放射線に対して非常に市民が、不安を抱えていることもあり、放射線医学総合研究所の医療被ばくプログラムリーダー 島田義也先生をお招きし、基調講演を行うことに致しました。正しい放射線について学びたいと思えます。

テーマ「福島原発による放射線被曝を考える」

～いわき市における放射線の現況と注意点

講師 島田 義也氏

独立行政法人 放射線医学総合研究所
 発達期被ばく影響研究プログラムリーダー
 医療被ばく研究プログラムリーダー

専門は、放射性は発がん。現在のテーマは発達期被ばくの影響、医療被ばくに関する調査。日本放射線影響学会幹事、日本癌学会評議員日本放射線研究連合、アジア放射線研究連合幹事、千葉大学、首都大学、東邦大学客員教授、阪神ファン



今日は「放射線被曝について、地域で出来ることは」と言うことで、報道される「シーベルト」「ベクレル」数値の意味について最初にお話しします。先ず「放射線」「放射能」「放射性物質」と言うものがありますが、放射能は放射線を出す能力を言います。たくさん放射線を出す物質は「放射能が高い」と言います。野菜に「ヨウ素」や「セシウム」と言った「放射性物質」が付着したものを食べると、体内で「放射線」を出し続け、体の細胞に放射線を当て続けることとなります。今回の東京電力福島原発の事故で、放射性物質が空中に放出され雲のように漂って雨が降れば放射性物質も一緒に降って、地表に溜まったり体に着いたりして「外部被曝」となります。水や食べ物に付着したり空気中の放射性物質は、体に入り「内部被曝」となります。今回のターゲットは「ヨウ素」と「セシウム」です。対策は、この二つが何処にあるかを考えます。放射性ヨウ素(I131)は寿命が短く、放射線を出しながらキセノンに変化し、8日で半分になります。セシウムが放射線を出す能力が半分になる期間がずっと長く、セシウム134は2年、セシウム137は30年かかりますので、これからはセシウムとの長い戦いになります。

放射線の単位ですが「ベクレル」は、食物などに付着したヨウ素やセシウムの放射線を出す能力、つまり放射線を出す側の単位です。「シーベルト」は放射線を浴びて影響を受ける側の単位です。我々が外部被曝と内部被曝の合計で「何シーベルトの放射線を浴びたか」で人体への影響が想像できます。ヨウ素131の場合は体の中に1ベクレル入ると0.000022ミリ・シーベルトの被曝となり、セシウムの場合は0.000013ミリ・シーベルトとなります。

人体に放射線が当たると細胞核の中にある「設計図」である遺伝子のDNAを攻撃し傷つけます。

人間には基本的には傷を治す能力がありますが、直すことが出来ない場合は細胞死になったり分裂できなくなったりします。でも間違っただけの場合は、傷を持った細胞がガンの元になる事があります。被曝の影響は、被曝した本人に出る身体的影響と子や孫に出る遺伝的影響があります。身体的影響は数日から数週間で出る急性障害と数ヶ月から数年後に出てくる晩発性障害に分けられます。晩発障害は、白内障とガン・白血病です。急性障害は不妊や脱毛の症状ですが、一定の量以上の被曝で発生することが分かっています。その最低の値は100ミリ・シーベルトです。一方ガンや白血病は、それ以下の被曝でも放射線の量に応じて増えてゆくだらうと考えられています。ですから、放射線は少ない線量でも、影響は有ると考えます。遺伝性の影響も同じです。これらの影響は、100ミリ・シーベルト（一生の累計）以下の場合には殆ど認められません。

放射線は自然界にも存在しますし、宇宙からも来るものもあります。食物などを通して体内に取り込まれたものもあります。飛行機に乗ったり宇宙へ行ったりすると、宇宙からの放射線を浴びることになります。宇宙船に滞在した野口さんは、3ヶ月で大体80ミリ・シーベルトの被曝をしている計算になります。自然界からの放射線は年間1.5ミリ・シーベルト、80年生きるとして120ミリ・シーベルトになります。医療での被曝は、先進国の平均が年間3～5ミリですので、個人差がありますが80年で240～400ミリ・シーベルトになります。これに、今回の東京電力福島原発の事故では、これに加えての放射線蓄積量となります。これが個人によってどれ位増えるかは分かりません。先ほどの「内部被曝」「外部被曝」をどう抑えるかが大切になります。

今日は学校の先生も沢山聴いているようですが、

放射線でガンになりやすいのは子供です。チェルノブイリでも事故後3～4年経って、子供の甲状腺ガンが事故前の10倍位に増えました。この甲状腺ガンを作るのが放射性ヨウ素です。胎児被爆については、妊娠4週までは流産となり、10週までは発生異常・奇形の引き起こし、それ以降ですと脳の発達する時期でIQが低いとか精神に影響します。このしきい値も100ミリ・シーベルトです。

子供をどうやって守るかですが、妊娠授乳期間は子供に影響しますから、お母さんは体内に放射性物質を取り込まないように注意します。呼吸からの影響は、マスクとかうがいによってある程度防げます。食べ物は、市場に出ているものは検出されない位の量ですが、山菜などはなるべく食べないようにします。お茶については、洗わずに商品になりますから、考える必要があります。

放射線から身を守る原則は「(1)離れる (2)遮る (3)時間を短く」です。放射性物質は地表に落ちていますから、砂遊びの場所の砂を取り除いて袋に入れておいて、何れ政府が取りに来てくれるのを待つ事でしょう。地表には放射性物質があり、靴につきますから家にはいるときは靴の底を拭く習慣を付けるのが良いと思います。雨の場合は、現在は空気中に放射性物質を含んだ粉塵は有りませんが、風の強い日には雨の降り始め1時間くらいは注意してください。子供が外に行って遊んできたなら、まずお風呂に入れる習慣を付けるのが良いでしょう。

学校では年間1ミリ・シーベルトと言われますが、これは政治的に決められた数値で、これ以上なら障害が出る訳でなく、少なければ少ないほど良いわけです。

■ 会食会風景

総会の後には会食会が行われました。会員同士の無事を確認しあいながらも、やはり震災時の状況、そして今後の見通しについての話題が多かったようです。ともかく、会員皆で力を合わせて頑張りましょう。



誕生月プレゼント

7名の会員にハイビスカスが贈られました。



左から寺主代表幹事、田村哲朗さん(4月2日生)、坂本和久さん(4月29日生)、高萩阿都志さん(3月4日生)
 舘勇男さん(3月14日生)、鈴木清友さん(3月8日生)、櫛田雪美さん(3月3日生)、安島浩さん(3月17日生)

6・7月例会開催予定

●6月第1回例会について

日 程 平成23年6月15日 水曜日 18:30～
 開催場所 いわき建設会館
 講 師 株協創 代表取締役 大和田 宏氏
 テーマ 「震災復興に対する労務対応・社会保険等々について」

●6月第2回例会について

日 程 平成23年6月28日 火曜日 18:30～
 開催場所 いわき建設会館
 講 師 常陽銀行 平支店 支店長 西野 英文氏
 テーマ 「震災復興に対する資金調達について」

■7月第1回例会について

日 程 平成23年7月8日 金曜日 18:30～
 開催場所 いわき建設会館
 講 師 参議院議員 岩城 光英先生
 テーマ 「震災後の福島県・いわき市の進むべき方向性について」

■7月第2回例会について

日 程 平成23年7月26日 火曜日 18:30～
 開催場所 いわき建設会館
 講 師 東京海上日動火災保険株式会社 いわき支社支社長 島崎 和弘氏
 テーマ 「震災と保険について」

● 18:30～会食 19:00～例会 19:30～講演会

会員の皆様には、ご多忙のことと思いますが、会員の皆様のご出席頂きますようお願い申し上げます。

いわき経済同友会
 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
 お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
 TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
 E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 編集 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
 情報委員会 委員長 坂本和久
 副委員長/阿部晴康・岩尾英子・清水雅昭・
 鈴木清友・田村慎太郎
 委員/山崎勇一郎